

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成28年～平成32年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	(かがわ) 香川計画区 (香川県)	事業実施主体	四国森林管理局 香川森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>香川県全域を対象とする本計画区は、区域面積188千haで、森林はその47%の88千ha、人工林率は26%となっている。年平均気温は約16℃、年平均降水量は1,100mm程度と比較的温暖で雨量の少ない瀬戸内式気候に属している。</p> <p>国有林野は、森林面積の9%にあたる8千haで、その大半は讃岐山脈に沿って帯状に分布し、一部は沿岸部と讃岐平野に分布している。人工林率は67%と高く、ヒノキが59%を占めている。</p> <p>人工林の齢級配置は、8齢級以上の森林が84%を占めており、地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策や森林資源の循環利用の推進等の観点から、適切な間伐を行いつつ、齢級の平準化に向けた取り組みが必要な資源状況となっている。天然林については、沿岸部の屋島や安戸池のほか、柏原、飯野山等周辺に分布している。</p> <p>また、国有林の大部分を保安林に指定するとともに、瀬戸内海国立公園に指定されている屋島を始め、景観に優れた森林については、風景林等レクリエーションの森に指定するなど、国土保全、水源の涵養、自然環境の維持及び形成、国民の保健及び休養の場の提供等、公益的機能の発揮に努めている。</p> <p>本事業においては、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備の推進や、このための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用促進に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容 更新面積 96ha ・ 保育面積 979ha 開設延長 1.60km ・ 改良延長 7.10km 総事業費 652,173千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B) 4,383,342千円		
	総費用(C) 804,443千円		
	分析結果(B/C) 5.45		
森林管理局事業評価技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業であると認められる。 		
	<p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：香川

施行箇所：香川計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,197,986	
	流域貯水便益	298,899	
	水質浄化便益	647,937	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,681,678	
環境保全便益	炭素固定便益	196,246	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	90,041	
	木材利用増進便益	829	
	木材生産確保・増進便益	48,453	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	7,372	
	森林整備促進便益	213,901	
総 便 益 (B)		4,383,342	
総 費 用 (C)		804,443	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{4,383,342}{804,443}$		= 5.45

香川森林計画区的位置図

